



学校法人佐久学園

No.20

2024(令和6)年5月31日発行

発行人 学校法人佐久学園

編集人 佐久大学広報委員会

印刷 株式会社アオヤギ印刷

<https://www.saku.ac.jp/>

# 佐久の薫風



## CONTENTS

- |                            |                           |
|----------------------------|---------------------------|
| ▷特集／学長等からのご挨拶 …………… 2・3    | ▷シリーズ・研究室探訪〈5〉 …………… 6    |
| ▷2023年度 卒業式・修了式 …………… 4    | ▷卒業生の活躍紹介 …………… 6         |
| ▷奇跡的な再会 …………… 4            | ▷2023年度 国家試験合格状況 …………… 7  |
| ▷退職者紹介 …………… 4             | ▷2023年度 卒業生・修了生 進路一覧 …… 7 |
| ▷2024年度 入学式 …………… 5        | ▷キャンパストピックス …………… 7       |
| ▷新任者紹介 …………… 5             | ▷佐久大学からのお知らせ …………… 8      |
| ▷Topics／社会連携・研究支援センター …… 6 |                           |

## 特集

## 学長等からのご挨拶

2024年4月、新学長が就任し、新たな体制がスタートしました。



## 学長 坂江千寿子

精神看護学の教員として佐久大学に着任してから10年間、講義・実習、大学院の教育の中で足と出会い、これまでのびのびと楽しい教員生活であったこと、改めて感謝いたします。このたび、大役を果たすこととなり、新しい経験に日々を緊張して過ごしております。新入生たちもきっと同じように新しい環境や人の輪に慣れようとしているのでしょうか。良い聞き手・話し手になること、キャッチボールやサッカー、バーベキューなどを気軽に楽しめる人間関係を作ってほしいと願っています。

学生時代は、青春という名のもとで自身を探し、将来への扉を開き始める時です。本学において看護と福祉を学ぶ意味はなんでしょうか。おそらく、「多様な価値観を持つ利用者にとってのそれぞれの最善とは何か？」を追求する本当のやさしさを身につけるために、考え抜く力や多様性、柔軟性をはぐくむための時間をもてることだと思います。

現在の少子高齢化、不安定要素の多い社会で活躍できるように、信州短期大学部福祉学科では、認知症の理解とケア、病的ケアを有する児の保育を、人間福祉学部では、精神保健福祉士やメディカルソーシャルワーカーなどと、人々の生活・建築・経営・サービス等に対応で

きる幅の広い可能性をもった人材を育成します。そして看護学部では、病院の内外を問わず、利用者や家族の生活上の課題に対応するための、ソーシャルワークができるナース（保健師/助産師を含めた看護職者）たちを輩出したいと考えています。おそらく、大学生活を通して保健医療系と福祉系の融合と職種間連携を体感できることも大きな学びの特徴になるでしょう。今後、本学を含む国公私3大学による地域活性化人材育成事業～SPARC～の履修プログラム（呼称 ShinXia）を用いて、他大学の教養教育科目等が受講しやすくなります。さらに、人間福祉学部と看護学部のカリキュラムも進化していきます。

小さな大学ならではの良さとして学生一人一人の個性を大切にしながら、健康を創造し生活を支える本学の価値が佐久の地にさらに深く根づくように努力を重ねていきたいと考えております。みなさまのご支援ご指導をよろしくお願い申し上げます。

## 看護学部 学部長 水野 照美

2024年4月より看護学部の学部長となりました水野と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。「佐久の薫風」送付先の皆様へご挨拶します。

この春、看護学部を卒業した皆さま、元気ですか。専門職として働く責任の重みに圧倒される時期かもしれません。多様性のある複雑な社会で看護に携わることは容易ではないと思います。とはいえ、先輩はみな同じ道を通っていますから、まずは体調を整えて目の前の仕事に向き合ってください。看護の世界はとて深く深いため、もやもやしたり「はて」と感じたりすることも出てきます。その際は、佐久大学で散策して図書館に寄ったり、教職員と連絡を取ったり話をしたりしてリフレッシュしてください。教職員一同、エールを心にお待ちしています。

在学生の保護者の皆さま、初めまして。新任の学部長として、学生さんの学生生活が充実したものとなるよう努めてまいります。看護学部の学生生活は、学期が進むにつれ応用科目が増えるハードな4年間です。しかし、初年次から段階的に学修することで、着実に大人として成長します。実習先の地域の方々や卒業生、大学の教職員も温かく親身な環境があります。社会に出る前の大切な時期に、学生が十分チャレンジして伸びていくよう、保護者の皆様には今後とも見守りと励ましをお願い申し上げます。

臨床実習を受け入れていただく病院・施設・自治体の職員の方々、患者様や利用者様とご家族の皆様、地域の皆様、日頃大変お世話になります。皆さまが学生を大人として扱い、教育的に関わっていただけることが、学生の成長に何よりありがたいことと感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

高校生の皆さん。佐久大学看護学部どんなイメージをお持ちですか。小さい大学ですが、結構、人と環境に恵まれた大学ですよ。「東京に行くのもいいけれど、佐久大学もいいかな」と思っていただけだと思います。まずは、オープンキャンパスや相談会に足を運んでみてください。教職員一同、在学生一同、お待ちしております。



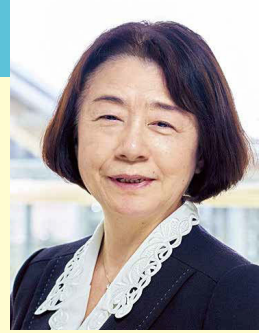


大学院看護学研究科 研究科長  
小林 恵子

この3月、大学院看護学研究科では修士論文コース4名、プライマリケア看護コース4名が課程を修了し、研究者、教員、高度実践を担う看護リーダーとして活躍しております。また、プライマリケア看護コースの修了生全員が診療看護師(NP)の資格試験に合格しました。

4月には修士論文コース5名、プライマリケア看護コース4名を迎え、それぞれ研究や高度実践能力の獲得を目指し、新たな学びがスタートしました。嬉しいことに、ここ数年、本学看護学部卒業生がよりよい看護を提供したいと大学院で学ぶ姿もみられるようになりました。

少子化による労働人口の減少や高齢者人口の割合が35%を迎えるという2040年問題を見据え、医療人材が絶対的に不足する中で、看護職に求められる役割も高度化しており、大学院への期待も高まっております。大学院看護学研究科ではエビデンスに基づく看護実践をしたい方、看護現象を探求したい方、高度看護実践能力を獲得したい方等、同じ志を持つ仲間と豊かな時間を過ごせるよう、環境を整えてお待ちしております。



助産学専攻科 専攻科長  
湯本 敦子

4月、助産学専攻科第3期生10名が入学しました。出身は県内はじめ関東圏から北陸圏まで、また年齢もこの3月に看護師国家試験に合格した学生とともに子育て中のママさんもいます。助産師を目指した動機も十人十色です。

これから1年間、助産師資格を目指し、新たな知識、技術を学び経験を積んでいきます。10人それぞれの個性を發揮しながら、互いに切磋琢磨し、知識・技術のみでなく、自分を認め、受け入れ、ひとにも認め受け入れ、ひとりひとりの力が尊重されながら一つになるチームの力も学びながら、人生のうちでかなり凝縮された濃密な時間を過ごすことになると思います。

人口減少、少子化の進む社会ですが、その時代・社会の女性・子ども・家族・地域のニーズを見出し、産む人・生まれてくる子、新たなメンバーを迎える家族のための支援を考えていってほしいと思います。助産師のちから・技を存分に發揮し、その時代に必要な助産師の役割を果たすことができる人材へと成長していくことを期待しています。



人間福祉学部 学部長  
野口 定久

人間福祉学部では、「ヒューマンケアの人間福祉学」を目指し、医療と福祉を融合した専門職業人の養成と地域の課題を解決し、地域づくりに貢献できる「人財」の育成に取り組んでいます。ヒューマンケアとは、現代の人たちが抱える

悩みや生きづらさを緩和するケアを、そして健康・暮らし・人生までを含めたケアのことを指します。

現代社会が要請するニーズや諸課題は多様な学問領域に広がっております。幅広い学びから学生本人が何を軸に学習し、学生自身の学びの核心となるのは何かを確認し、各自が自信をもって、自己の学びを的確に説明することが就職の際の面接などでも求められます。

人間福祉学部で学んだ学生たちの卒業後の進路は、①公務員(福祉職・一般職、児童相談所、市町村役場)、②社会福祉法人・NPO・施設(社会福祉協議会、障がい者施設、高齢者施設、児童施設等)、③医療機関(医療ソーシャルワーカー、病院、クリニック)、④一般企業(医療福祉、住宅・観光・アパレル・食材・IT、訪問介護、有料老人ホーム等)など幅広い分野での活躍が期待できます。



信州短期大学部福祉学科 学科長  
斎藤 和幸

短期大学部福祉学科が「介護福祉専攻」と「子ども福祉専攻」の2専攻課程に分離してから3年

が経過しました。子ども福祉専攻からも既に2期生が卒業し、その内30名以上が保育士国家資格を取得し保育士として活躍しています。本学の卒業生の特徴は、保育所保育士のみならず児童養護施設や障がい者施設など施設保育士として就職するものが多数いることです。学生は実習経験やボランティアなどを経て自らに合った就職先を見定め、教員や現場の実習指導者の助言も得て決定しています。また、介護福祉専攻では令和5年度卒業生の国家資格合格率は100%を達成し、国家試験化されて以降毎回高い合格者を誇っており、養成校として地域における信頼をますます高めています。

2つの専攻課程は、福祉社会において大きな期待が寄せられる人材養成課程です。保健・医療・福祉の先進的な地域での学びを強みにし、地域ケアの一旦を担う専門職として責務を果たすために、今後さらに地域の福祉ニーズに対応した人材養成に努めて参ります。

2024年度 佐久学園役職者

- 理事長 ..... 盛岡 正博
- 学 長 ..... 坂江千寿子
- 図書館長 ..... 小山 秀夫
- 学務部長(兼学生総合支援センター長) ..... 吉田 文子
- 看護学部 学部長 ..... 水野 照美
- 学科長 ..... 鈴木 千衣

- 大学院看護学研究科 研究科長 ..... 小林 恵子
- 助産学専攻科 専攻科長 ..... 湯本 敦子
- 人間福祉学部 学部長 ..... 野口 定久
- 学科長 ..... 狩野 徹
- 信州短期大学部福祉学科 学科長 ..... 斎藤 和幸
- 基盤教育センター長 ..... 佐藤 嘉夫
- 社会連携・研究支援センター長 ..... 島田 千穂
- 事務局長 ..... 羽野田幸博

# 2023年度 卒業式・修了式 2024年3月15日 佐久大学にて举行了ました



## 卒業生・修了生より 学生生活を振り返って



大学院看護学研究科  
近藤 絢美

長期履修制度を利用した3年間の大学院での学修は、これまでの看護実践の振り返りと臨床現場における新たな課題発見の連続でした。このような場に身を置かなければ、私は「井の中の蛙」だったと思います。そして、看護への高い志をもつ仲間との出会いは、かけがえのない財産となりました。



看護学部  
高山 みなみ

大学生活では、看護の深さや看護観、自分との付き合い方など様々なことに向き合うことができました。辛く、逃げ出したくなることもありましたが先生方や仲間、家族、これまで受け持った患者さんの存在は私にとって大きな力になりました。佐久大学で学べたことへの感謝を忘れず、看護師として精一杯頑張ります。



助産学専攻科  
丸山 華佳

この1年間、女性の持つ力の大きさや子どもが生まれることの尊さ、生命の誕生に関わることの責任の重さを実感しました。また、仲間と切磋琢磨し、それぞれの価値観や経験をもとに学びを深めることができ、とても実りのある1年になりました。



信州短期大学部福祉学科  
高木 亜未

2年間という短い期間のなかで、楽しいことだけでなく実習など辛いことや大変なことも多くありました。ですが家族や先生方、友達からの応援や支えで乗り越えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。2年間本当にありがとうございました。



### ● 奇跡的な再会

2022年度後期に行われた実習の時のことです。当時3年生の寺島綾菜さんは自身が誕生した総合病院での実習でした。指導担当は篠崎一栄先生です。実習を進めていく中、約20年前の誕生時の担当助産師が篠崎先生だったことが分かりました。寺島さんは奇跡的な再会に大変驚かれ、感動していました。寺島さんは今年3月に卒業し、今はJA長野厚生連長野松代総合病院の消化器外科で看護師として頑張っています。(k)

### 退職者紹介 (2024年3月31日付)

看護学部 教授 荒井 春生    看護学部 助教 井手段 幸樹    信州短期大学部 教授 関口 昌利  
看護学部 准教授 内山 明子    看護学部 助手 石坂 俊也    信州短期大学部 講師 平野 忠男

佐久学園での教育にご尽力いただき、ありがとうございました

# 2024年度 入学式

2024年4月5日

佐久平交流センターにて行いました



## —入学生代表より— 入学にあたって



看護学部 秋山 実生

例年よりも暖かく、春の日差しと風を感じられる季節となった良き日に、佐久大学に入学できたことを大変嬉しく思います。入学式では、学長をはじめ、理事長、ご来賓より心のごもった励ましのお言葉や激励のお言葉をいただき、改めて気を引き締めることができました。

さて、年初には非常に大きな地震が能登半島を襲い、令和6年は暗い幕開けとなってしまいました。しかし、その復興支援として、様々な医療チームや社会福祉士、介護福祉士に保育士を含めた合同チームの方々が活躍されている姿をメ

ディアを通して目の当たりにし、大変感銘を受けました。私も将来より良いチーム医療を行うことができるよう、4年間の大学生活を通じて多くの知識や技術を修得するだけでなく、日頃から「チーム医療」を意識し、他の学部の学生との関わり合いを大切にしていきたいと思っています。

自然豊かな素晴らしいキャンパスで勉学に打ち込むことのできる機会を与えてくれた家族、そしてこれからお世話になる教職員の皆様への感謝の気持ちを忘れず、目標とする舞台で活躍できる人材となれるよう、自身の目標に向かって日々精進したいと思います。

## 新任者紹介 (2024年4月1日付着任)



看護学部 助教 塚原 美穂

- 担当領域 小児看護学
- 出身地 島根県
- 出身校 新潟県立看護大学 (修士課程)
- 趣味 犬と遊ぶこと

### 自己PR

病院、企業、小学校、児童発達支援センター、行政、そのほか様々な場所で楽しく看護職をしてきました。幅広く活躍できる看護職の楽しさを伝えていきたいです。



看護学部 助手 岩崎 春江

- 担当領域 成人看護学
- 出身地 佐久穂町
- 出身校 東邦大学医療短期大学
- 趣味 海釣り、野菜栽培

### 自己PR

3年前に地元に戻ってまいりました。大自然の恩恵にあずかりつつ、人材育成や社会貢献に関われることに感謝いたします。

TOPICS  
トピックス

## 社会連携・研究支援センター

社会連携部門 / 国際交流部門 / 研究研修部門 / ボランティア・アクションセンター

## 社会連携部門

## 佐久バルーンフェスティバル (2024年5月)

毎年全国から30万人を超える方が来場する「佐久バルーンフェスティバル」。佐久大学では、オープンキャンパスの周知のほか、大きなダーツにボールを当てるアトラクションを出展し、2日間で1,200人を超える方に楽しんでいただきました。



## 国際交流部門

## JICA 草の根技術協力タイプロジェクト



2016年から足掛け8年にわたりJICA委託事業として、本学が佐久市、浅間総合病院、佐久総合病院などと連携し、タイ王国サンスク町の『高齢者の寝たきりゼロ!』を目指して取り組んできた草の根技術協力事業がこの2月に完了を迎えました。寝たきりだった方が、8年の技術協力支援により、外出ができるようになるなど多くの改善が見られ、参加した専門職の皆さんは「社会を変えることができる」といった驚きとともに充実感を得たようです。

## 研究研修部門

## リカレント講座「高度な認知症ケアの知識と実践」(2024年1月~2月)

ケア専門職の能力・スキルアップのためのリカレント講座は今回で3回目。今回は佐久市内の看護師、介護福祉士などのケア専門職の皆さんに受講していただきました。新型コロナウイルス感染症の対応が5類に移行したこともあり、今回は全て対面での開講となったため、認知症ケアでの日頃の課題や工夫などの意見交換も活発にでき、とても有意義な講座であったことが受講者のアンケートからもわかりました。



## ボランティア・アクションセンター

## 能登半島地震災害支援ボランティア活動 (2024年4月)

4月27日~29日の3日間、本学の学生9名が輪島市町野町などで活動しました。取り壊す家の家財の搬出などを行い、被災された皆さんを励ますため、海岸に『難関を突破する鯉のぼり』をあげてきました。学生は「現地に行かないとわからない貴重な体験ができた。継続的に関わりたい。」と、災害支援ボランティアの必要性を実感しました。



## 【シリーズ】研究室探訪

5

## 研究の原点

人間福祉学部 教授  
唐鎌 直義

大学院生時代に院生用の学内雑誌に短い論文を書きました。まだ自分の研究方法が未確立の時代で、数点の文献を頼りに理論的考察の論文を書きました。1ヶ月ほど経った頃、恩師の江口英一先生に御茶ノ水の「ミロ」という喫茶店に呼び出され、1時間余り説教されました。「君の書いた論文の主張はいいのだけれど、統計的な数値の裏づけが欠けている。今後、絶対に統計的裏づけのない論文を書いてはいけない」と。本気で叱ってくださる恩師のことを心底有り難いと思いました。それ以来、「実証」ということを常に忘れないように心掛けています。

科学研究は事実の証明の連続です。事実から出発すること(=帰納的研究)で、研究の客観性と相対性、再現性が担保され、恣意性が排除され、一步真理に近づいた研究として共有されることとなります。

私ももう72歳。細かな統計数値と格闘する生活が少々辛くなってきました。それでも発見の喜びがある限り、もう少し頑張ってみようかなと思います。「研究者は素直な性格の人の方が伸びるよ。唐鎌君は素直ですか」と恩師に聞かれたことがあります。科学者として透徹した眼を持ち続けたいと願っています。

## 卒業生の活躍紹介

看護学部10期生  
田中 拓介さん

佐久大学看護学部10期生の田中拓介です。現在は長野県中野市にある北信総合病院で看護師として働いています。昨年度、佐久大学のオープンキャンパスで病院のブースを担当させていただきました。

私は、整形・形成外科、小児科を主とし、眼科や口腔外科を含む混合病棟に勤務しています。主に整形・形成外科の周手術期の患者を担当し、術前・術後の看護を行っています。辛いこともありますが、看護師という仕事に誇りと責任をもち日々精進しています。

4年目ともなると委員会や新人指導、長野県看護連盟の委員を任せられ、慣れない業務に苦戦しながらも、先輩や同期に支えてもらいながらキャリアアップの第一歩として、日々勉強しています。

2023  
年度

## 国家試験合格状況

2024年3月に第113回看護師国家試験、第110回保健師国家試験、第107回助産師国家試験、第36回介護福祉士国家試験の合格者が発表されました。

本学の合格率は、いずれも全国平均を上回る合格率でした。皆さん、おめでとうございます！

●看護学部	受験者数(名)	合格者数(名)	合格率(%)	全国平均(%)
第113回 看護師	89	86	96.6	93.2
第110回 保健師	20	20	100	97.7
●助産学専攻科	受験者数(名)	合格者数(名)	合格率(%)	全国平均(%)
第107回 助産師	6	6	100	99.3
●短期大学部福祉学科	受験者数(名)	合格者数(名)	合格率(%)	全国平均(%)
第36回 介護福祉士	12	12	100	82.8

## 日本NP教育大学院協議会 令和5年度 第14回診療看護師(NP)資格認定試験

受験者数 4名 合格者 4名 合格率 100%

## 2023年度 卒業生・修了生 進路一覧

### 看護学部

【就職】 ■長野県▶北信総合病院/長野松代総合病院/南長野医療センター/鹿教湯三才山リハビリテーションセンター/浅間南麓こもる医療センター/佐久総合病院/北アルプス医療センターあづみ病院/富士見高原医療福祉センター/信州上田医療センター/東御市民病院/まつもと医療センター/長野市民病院/長野赤十字病院/安曇野赤十字病院/諏訪赤十字病院/長野中央病院/丸子中央病院/市立大町総合病院/信州大学医学部附属病院/相澤病院/丸の内病院/岡谷市民病院/上伊那生協病院/健和会病院/輝山会記念病院/南牧村/根羽村

■東京都▶東京共済病院/東京蒲田医療センター/東邦大学医療センター大森病院/杏林大学医学部付属病院/西八王子病院/タムス瑞江病院 ■神奈川県▶湘南藤沢徳洲会病院/湘南鎌倉総合病院 ■栃木県▶佐野厚生総合病院 ■群馬県▶公立藤岡総合病院 ■富山県▶富山赤十字病院/富山市民病院/西能病院 ■山梨県▶山梨県立病院機構/山梨大学医学部附属病院

【進学】 佐久大学助産学専攻科/清泉女学院大学助産学専攻科

### 助産学専攻科

【就職】 ■長野県▶佐久総合病院/南長野医療センター/長野県立病院機構 ■神奈川県▶昭和大学横浜北部病院/東海大学医学部附属病院 ■福井県▶福井大学医学部附属病院

### 信州短期大学部福祉学科介護福祉専攻

【就職】 ■長野県▶浅間南麓こもる医療センター/長野松代総合病院/有限会社カインズ・ライフ/社会福祉法人大樹会 高齢者福祉施設ベルポートまるこ/社会福祉法人みまき福祉会/社会福祉法人睦会 総合福祉施設須坂やすらぎの園/社会福祉法人ハートフルケアたてしな/社会福祉法人ジェイエー長野会さく地域事業本部 ■群馬県▶社会福祉法人二之沢真福会 特別養護老人ホームルネス二之沢

【進学】 専門学校東京デザイナー学院

### 信州短期大学部福祉学科子ども福祉専攻

【就職】 ■長野県▶長野市/小諸市/北相木村/上田市/東御市/佐久市/御代田町/社会福祉法人稲田会 かざぐるま保育園/社会福祉法人法延会 児童養護施設軽井沢学園/一般社団法人医療介護ケア協会 らいおんハート遊びリテーション児童デイ佐久南/一般社団法人聖歩 おおきくなあれ保育園/株式会社 Integrity /オネストリイ株式会社 はびねす東和田/アート金属工業株式会社/株式会社おりじん

■埼玉県▶社会福祉法人みずほ育伸会/社会福祉法人まあれ愛恵会 南浦和たいよう保育園 ■東京都▶社会福祉法人同胞援護婦人連盟 児童養護施設こどものうち八栄寮

## キャンパストピックス

# CAMPUS TOPICS

2023.11 ~ 2024.4

■ 大学院看護学研究科 ■ 看護学部 ■ 助産学専攻科 ■ 信州短期大学部  
■ 人間福祉学部 ■ 共通

### 2023年

- 11月11日 ■ 看護学研究発表会
- 11月21日 ■ 長野南高等学校 1年生大学見学
- 24日 ■ 須坂東高等学校 1年生大学見学
- 11月30日 ■ 本学が参画する一般社団法人信州アライアンスが 大学等連携推進法人に認定
- 12月4日~6日 ■ JICA ブラジル日系社会研修 (地域保健医療福祉)



JICA ブラジル日系社会研修 (地域保健医療福祉)

- 12月4日~8日 ■ 授業公開・参観 (保護者・高校生・実習施設職員)
- 6日 ■ 保健医療福祉人材育成協議会
- 事例研究発表会 (介護福祉専攻 2年)
- 9日 ■ 信州介護学研究会
- 入試相談会
- 公開講座
- 13日 ■ インターンシップ報告会 (1・2年)
- 20日 ■ 学生会クリスマス会、学生会長選挙
- 23日 ■ 公開講座
- 26日 ■ 地域生活者交流実習 I ・ CBL 実習 I 合同報告会
- 27日 ■ 学生会クリスマス会、学生会長選挙

### 2024年

- 1月20日 ■ ソーシャルワーク実習報告会 (2・3年)
- 入試相談会
- 23日 ■ PCAN 実習報告会
- 介護福祉士国家試験
- 28日 ■ 助産師国家試験
- 2月8日 ■ 保健師国家試験
- 9日 ■ 看護師国家試験
- 11日 ■ 入試相談会
- 17日 ■ 入試相談会
- 22日 ■ 佐久総合病院看護専門学校との連携協定締結式
- 3月3日 ■ NP 資格認定試験
- 5日 ■ 修士論文発表会
- 8日 ■ 小諸商工会議所との連携協定締結式
- 9日 ■ 佐久市民の日協賛イベントへの出展
- 15日 ■ 2023年度卒業式・修了式
- 21日 ■ 小諸・岩村田・野沢南高等学校との連携協定調印式



入試相談会



小諸・岩村田・野沢南高等学校との連携協定調印式

- 24日 ■ オープンキャンパス
- 4月5日 ■ 2024年度入学式
- 27日 ■ オープンキャンパス



オープンキャンパス

# 人間福祉学部では、新たに4つの専修を検討しています

2025年4月より学際的な履修を進めていく上での道標となるように4つの専修（地域づくり、福祉心理、こども家庭福祉、医療福祉）を設けることを検討しています。

この道標に沿って専門性を意識した幅広い学修を積み重ね、地域・社会のニーズにこたえられる人材になっていただきたいと考えています。より明確な学修の道筋を自覚することで、学生ひとり一人の履修が有意義で豊かなものとなり、学生自身の幅広い進路選択に役立てることができるようになります。 ※2024年5月時点での予定であり、変更となる場合があります。

OPEN CAMPUS 事前予約制

## 佐久大学 オープンキャンパス2024

看護学部 人間福祉学部 短期大学部 助産学専攻科

### 開催日

6/23[日] 7/27[土] 8/18[日] 10/27[日]

※助産学専攻科は7/27(土)、8/18(日)のみ

- ランチ体験orキッチンカー
- 模擬授業
- キャンパスツアー
- 個別相談
- 実習先バスツアー
- 卒業生の体験談

※予定は変更となる場合があります。

無料シャトルバス あります

詳細・参加申し込みは WEBから

佐久大学 オープンキャンパス

## 寄付金のお願い

本学園では、高等教育機関としての社会的使命を実現するために、ご寄付をお受けしております。ご支援を賜った方々のご厚志に感謝し、学内には寄付者銘版を掲げご芳名をしるし、顕彰させていただいております。今後とも格別のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

**募金金額** 個人：一口 3,000円より  
法人：特に定めない

※税法上の優遇措置が適用されます。

詳細につきましては、本学ホームページまたは担当（総務課）までお問合せください。

Tel. 0267-68-6680 E-mail. soumu@saku.ac.jp  
<https://www.saku.ac.jp/about/donation/>



## 佐久大学古本募金

読み終わった本が 学生のための新しい本に生まれ変わります

「佐久大学古本募金」は、皆さまからご提供いただいた本・CD・DVDの買取金額が寄付となり、佐久大学図書館の資料購入費として学生の学修支援活動に役立てられるプロジェクトです。

### 古本募金の流れ

1. 本・CD・DVD を梱包・申込 合計5冊(5点)から送料無料
2. 古本の集荷 仕分け・査定
3. 佐久大学 古本募金へ 買取金額の寄付

### 申し込み方法



専用フォームからお申し込みください。宅配業者が玄関先まで集荷に伺います。

佐久大学古本募金の詳細はこちら  
<https://www.charibon.jp/partner/saku/>

## 編集後記

「佐久の薫風」は本号をもって、20号という節目を迎えました。これまで発刊できましたのも、発刊に携わっていただいた多くの皆さまのお力添えがあったからこそその結果であると思います。今後も引き続き佐久学園の「今」を皆さまにお届けしていきます。

最後に本号の発刊にあたりご協力いただきました、学生や教職員の皆さまに心より感謝申し上げます。

